

国土交通省ハザードマップポータルサイトから 配信される災害リスク情報について

国土交通省国土地理院
応用地理部地理情報処理課
吉松 直貴

- 国土交通省ハザードマップポータルサイトの概要
 - 重なるハザードマップの洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域をタイルデータとして配信
- 配信データの入手方法
- 重なるハザードマップの洪水浸水想定区域
- 重なるハザードマップの土砂災害警戒区域
- 配信データの活用促進

- 平成30年7月豪雨では、行政等から災害リスクや防災情報の多種多様な情報が事前に提供・発信されていたものの甚大な人的被害が発生
- 住民が自ら判断し自発的に避難することを促すための対策の強化が必要
「平成30年7月豪雨による水害・土砂災害からの避難に関するワーキンググループ（第1回 資料4 ワーキンググループで検討すべき論点（案））」より抜粋

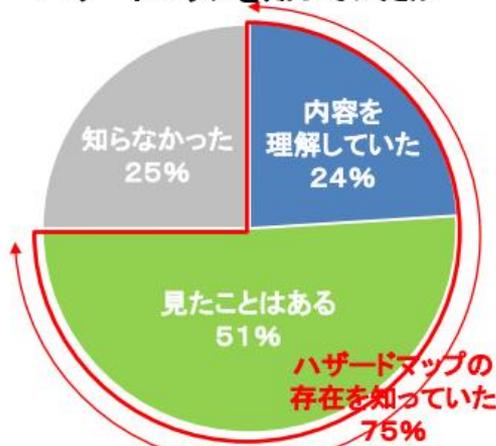
災害リスクの理解 ～ハザードマップ等の認知～

- 洪水、土砂災害ハザードマップは公表*され、各戸配布等の周知も実施
 - ✓ 死者・行方不明者が発生した44市町の全てで、洪水、土砂災害ハザードマップを公表
- ハザードマップの存在は知っているものの、内容まで理解していた方は少数
 - ✓ 真備地区におけるアンケート調査結果では、ハザードマップの存在を知っていた方は75%
 - ✓ しかし、ハザードマップの内容を理解していた方は24%（兵庫県立大 坂本准教授調査）
- 洪水の可能性がある低地居住者の多くが、洪水危険性を認知していない
 - ✓ 居住者の7割が居住地の洪水危険性を楽観視（静岡大 牛山教授調査）

注）洪水については、浸水想定区域を市町村内に含まないため作成が不要である4町を除く
*洪水については、想定最大規模の降雨に対応したハザードマップのほか、計画規模の降雨に対応したハザードマップを含む。
*土砂災害については、土砂災害警戒区域に対応したハザードマップのほか、土砂災害危険箇所に対応したハザードマップを含む。

兵庫県立大 坂本准教授調査

ハザードマップを知っていたか

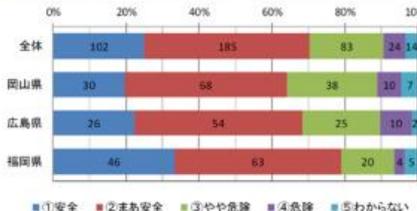


アンケートは倉敷市真備町地区で被災して避難所、親族宅などで暮らしたり、同地区で復旧作業に当たる男女100人(男54人、女46人)に7月28日に面談方式で実施
坂本真由美(兵庫県立大学)・松多信尚(岡山大学)・廣井悠(東京大学)が山陽新聞社とともに実施した調査に基づき内閣府にて作成

静岡大学 牛山教授調査

居住地の洪水に対する危険度認知(低地居住者)

7月5～8日の大雨より前の時点で、あなたがお住まいの地区は、大雨による洪水の災害に対して安全だと思っていましたか



・洪水の可能性がある「低地」居住者の7割が、居住地の洪水危険性を楽観視している
- 危険側の回答(③④)は、全体で2割強
- 岡山で3割弱とやや高く、福岡で2割弱とやや低い

※「あなたがお住まいの地区」について聞いており、「自宅の危険度」を聞いているものではない

Shizuoka University

調査対象：平成30年7月豪雨時の大雨特別警報発表地区（一部）の在住者
・岡山地区：岡山市、倉敷市、総社市、早島町
・広島地区：広島市、呉市、坂町、海田町、府中町、熊野町
・福岡地区：福岡市

牛山素行(静岡大学)平成30年7月豪雨時の災害情報に関するアンケート(2018年7月実施)
【2018/10/11追記版】に基づき内閣府にて作成

- 災害から命を守るためには、身のまわりにどんな災害が起きる危険性があるのか、どこへ避難すればよいのか、事前に備えておくことが重要。
- 国土地理院では、防災に役立つ様々なリスク情報や全国の市町村が作成したハザードマップを、より便利により簡単に活用できるようにするため、ハザードマップポータルサイトを公開中（主なコンテンツは下図の通り）。
- 重ねるハザードマップの洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域をタイルデータとして提供を実施。
（他のリスク情報の提供や機械判読可能な形式（ベクトルタイル）で提供するための検討を実施中）

重ねるハザードマップ（平成26年6月～）

防災に役立つ様々なリスク情報を1つの地図上に重ねて表示

重ねるハザードマップ
～災害リスク情報などを地図に重ねて表示～

洪水・土砂災害・津波のリスク情報、道路防災情報、土地の特徴・成り立ちなどを地図や写真に自由に重ねて表示できます。

地図を見る

場所を入力
例：茨城県つくば市北部1 / 国土地理院

表示する情報を選択

- 洪水（想定最大規模）
- 土砂災害
- 津波

洪水浸水想定
土砂災害警戒区域等
津波浸水想定
洪水浸水想定+津波浸水想定

ピクトグラムから選択

重ねたい情報をパネルから選択

災害リスク情報をオープンデータで提供

わがまちハザードマップ（平成19年4月～）

全国各市町村のハザードマップを検索

わがまちハザードマップ
～地域のハザードマップを入手する～

各市町村で作成したハザードマップをリンクします。地域ごとの様々な種類のハザードマップを閲覧できます。

すぐに見る

まちを選ぶ
都道府県 ▼ 市区町村 ▼

①市区町村名を選択

②ハザードマップの種類を選択

- 洪水ハザードマップ
インターネットで公開している。公開URLを開く
- 内水ハザードマップ
インターネットで公開している。公開URLを開く
- 高潮ハザードマップ
インターネットで公開している。公開URLを開く
- 津波ハザードマップ
インターネットで公開している。公開URLを開く
- 土砂災害ハザードマップ
インターネットで公開している。公開URLを開く
- 火山ハザードマップ

洪水ハザードマップ
土砂災害ハザードマップ
津波ハザードマップ
高潮ハザードマップ
火山防災マップ

配信データの入手方法

重ねるハザードマップから配信されているデータ

重ねるハザードマップ
～災害リスク情報などを地図に重ねて表示～

洪水・土砂災害・津波のリスク情報、道路防災情報、土地の特徴・成り立ちなどを地図や写真に自由に重ねて表示できます。

[地図を見る](#)

場所を入力
例: 茨城県つくば市北郷1 / 国土地理院

表示する情報を選ぶ

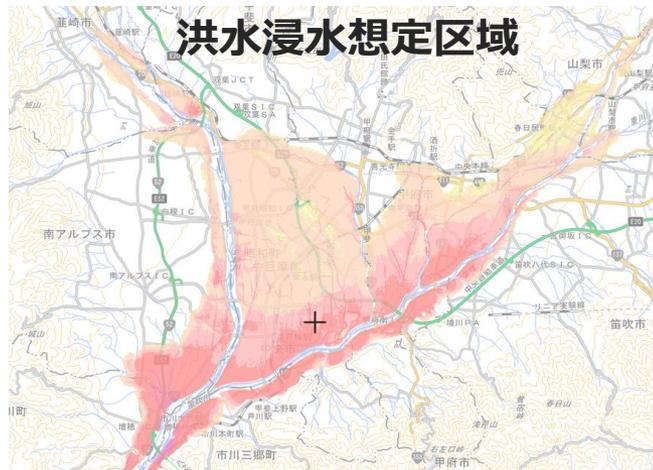
洪水
(想定最大規模)

土砂災害

津波

洪水 (計画規模) はこちら

重ねるハザードマップで閲覧できるタイルデータ (PNG形式) を配信しています



データの利用方法

各データのURLからリアルタイムに読み込み、アプリ等でご利用いただけます。

国土交通省ハザードマップポータルサイト
～身のまわりの災害リスクを調べ～

最新情報 2018年6月8日 スマートで避難確認！1秒5回に1回だけ浸水するの1～4階

重ねるハザードマップ
～災害リスク情報などを地図に重ねて表示～

洪水・土砂災害・津波のリスク情報、道路防災情報、土地の特徴・成り立ちなどを地図や写真に自由に重ねて表示できます。

[地図を見る](#)

場所を入力
例: 茨城県つくば市北郷1 / 国土地理院

表示する情報を選ぶ

洪水
(想定最大規模)

土砂災害

津波

洪水 (計画規模) はこちら

※洪水 (想定最大規模): 国土交通省 (H45) 用を掲載
※洪水 (計画規模): 国土交通省 (H45) 用を掲載
※土砂災害の危険区域について

トップページの「関連情報」から「データ配信について」をクリック

国土交通省ハザードマップポータルサイト
～身のまわりの災害リスクを調べ～

「重ねるハザードマップ」のデータ配信について
以下のデータは、記事のなかからリアルタイムに読み込み、ウェブサイトやソフトウェア、データの仕様は国土地理院の地理院タイルと似ています。
出典の記載方法は、「ハザードマップポータルサイト」として、当該ページへのリンクをぜひ

データの種別	洪水浸水想定区域 (想定最大規模)
URL	https://disportaldata.gsi.go.jp/raster/01_Flood_02_shimushu_kuni_openid/01/01/01/01.png
ズームレベル	2～17
提供開始	平成30年10月3日
出典のデータの名称 / 作成者等	国土交通省 各地方整備局
データの種別	危険区域の地理院タイル
URL	北海道 https://disportaldata.gsi.go.jp/raster/05_kyushu-shakakaiiku_spendata/01/01/01/01.png
	青森県 https://disportaldata.gsi.go.jp/raster/05_kyushu-shakakaiiku_spendata/02/01/01/01.png
	岩手県 https://disportaldata.gsi.go.jp/raster/05_kyushu-shakakaiiku_spendata/03/01/01/01.png
	宮城県 https://disportaldata.gsi.go.jp/raster/05_kyushu-shakakaiiku_spendata/04/01/01/01.png
	秋田県 https://disportaldata.gsi.go.jp/raster/05_kyushu-shakakaiiku_spendata/05/01/01/01.png
	山形県 https://disportaldata.gsi.go.jp/raster/05_kyushu-shakakaiiku_spendata/06/01/01/01.png

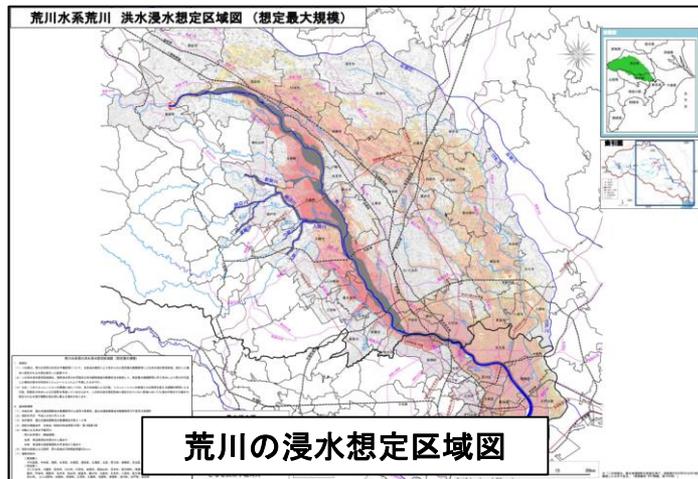
各データのURLが掲載されています



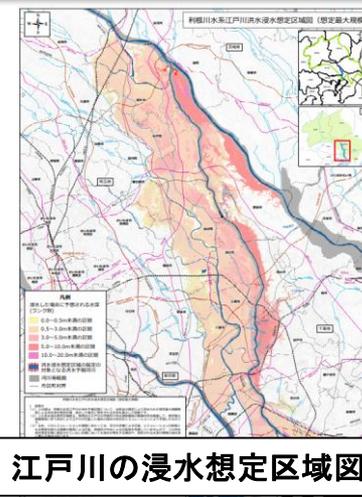
データを活用したアプリ開発・防災訓練等
※災害リスク情報を活用した防災意識社会の構築

アプリ開発による災害リスク情報 (オープンデータ) の利活用イメージ

複数の市町村・流域（河川）にまたがって、シームレスな閲覧が可能



荒川の浸水想定区域図



江戸川の浸水想定区域図

重ねるハザードマップでの表示

シームレス
表示



荒川

江戸川

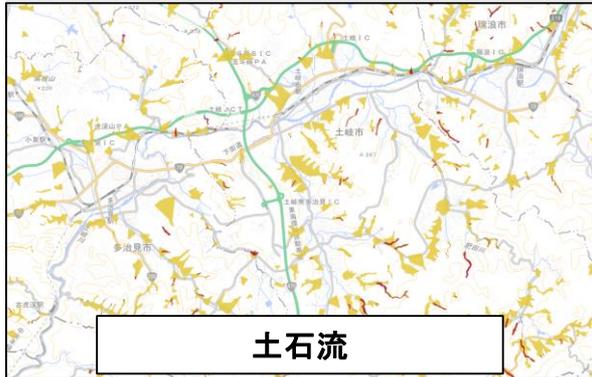
0.5m未満
0.5~3.0m
3.0~5.0m
5.0~10.0m
10.0~20.0m
20.0m以上

想定最大規模の洪水浸水想定区域（国管理河川）をタイルデータとして提供を実施

重ねるハザードマップの土砂災害警戒区域

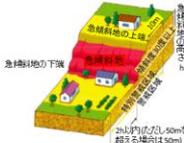
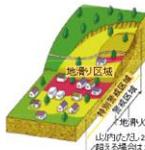
土砂災害警戒区域（急傾斜地の崩壊、土石流、地すべり）をシームレスな閲覧が可能

重ねるハザードマップでの表示



【凡例と解説】

詳細はこちらから <http://www.mlit.go.jp/river/sabo/sinpoupdf/gaiyou.pdf>

	特別警戒区域	警戒区域
急傾斜地の崩壊 ※傾斜度が30°以上ある土地が崩壊する自然現象  		
土石流 ※山腹が崩壊して生じた土石等又は溪流の土石等が一体となって流下する自然現象  		
地すべり ※土地の一部が地下水等起因して滑る自然現象又はこれに伴って移動する自然現象  		

特別警戒区域:
 急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域で、特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等が行われます。

警戒区域:
 急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

土砂災害警戒区域をタイルデータとして提供を実施

災害リスク情報の活用事例集を作成・周知（～3月）

- ▶ 災害リスク情報の活用推進のため、重ねるハザードマップから配信される情報をはじめとした災害リスク情報を有効に活用している事例を収集し、事例集の作成・周知を実施する。

【掲載する事例（案）】

重ねるハザードマップから配信される情報をはじめとした災害リスク情報を有効に活用した事例

重ねるハザードマップから配信される災害リスク情報を活用した事例（アプリ、サイト等）がありましたら情報提供をお願いいたします！

【連絡先】 gsi-portal@ml.mlit.go.jp



活用事例集のイメージ